



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 株式会社 コロワイド 上場取引所 東
 コード番号 7616 URL <http://www.colowide.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野尻 公平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 瀬尾 秀和 TEL 045-274-5970
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 事業利益※1 | | EBITDA※2 | | 四半期利益 | | 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益合計額 | |
|---------------|--------|-------|--------|------|----------|-----|--------|-------|-------------------|-------|------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 30,481 | △48.4 | △5,402 | ー | △3,481 | ー | △5,198 | ー | △4,189 | ー | △5,402 | ー |
| 2020年3月期第1四半期 | 59,069 | △0.6 | 2,503 | △1.7 | 4,890 | 1.0 | 516 | △69.8 | 375 | △65.0 | 359 | △80.9 |

| | 基本的1株当たり 四半期利益 | 希薄化後1株当たり 四半期利益 |
|---------------|-------------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | △58.52 | △58.52 |
| 2020年3月期第1四半期 | 2.30 | 2.30 |

※1 事業利益 = 「売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費」により計算しております。

2 EBITDA = 「事業利益 + 減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）」により計算しております。

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に 帰属する持分 | 親会社所有者 帰属持分比率 | 1株当たり親会社 所有者帰属持分 |
|---------------|---------|--------|--------------------|------------------|---------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 241,026 | 32,592 | 20,047 | 8.3 | 184.51 |
| 2020年3月期 | 248,832 | 38,889 | 24,958 | 10.0 | 249.96 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | ー | 0.00 | ー | 5.00 | 5.00 |
| 2021年3月期 | ー | | | | |
| 2021年3月期（予想） | | 0.00 | ー | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は普通株式にかかる配当状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「優先株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点においては新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たず、合理的な業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となりました時点で速やかに開示致します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2021年3月期1Q | 75,284,041株 | 2020年3月期 | 75,284,041株 |
| 2021年3月期1Q | 249,609株 | 2020年3月期 | 249,483株 |
| 2021年3月期1Q | 75,034,501株 | 2020年3月期1Q | 75,035,705株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社グループは、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

優先株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

優先株式

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) |
|--------------|----------|--------|--------|--------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 | |
| 優先株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | — | — | 3,126,360 00 | 3,126,360 00 | 93,790,800 00 |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 3,126,360 00 | 3,126,360 00 | 93,790,800 00 |
| 第2回優先株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | — | — | 3,626,360 00 | 3,626,360 00 | 108,790,800 00 |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 3,626,360 00 | 3,626,360 00 | 108,790,800 00 |

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | 4 |
| (2) 要約四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 要約四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (4) 要約四半期連結持分変動計算書 | 8 |
| (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大のため輸出が大幅に減少し、また国内消費も4月に発令された緊急事態宣言によって不要不急の外出や営業活動の自粛が一段と高まったことから大きく落ち込みました。このため雇用情勢は深刻な人手不足から一転して「人余り」となりました。5月に緊急事態宣言が解除されたものの、新しい生活様式に基づく消費習慣や新型コロナウイルスの感染症拡大第2波の懸念などから、経済活動の回復の足取りは鈍いままとなっております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大によって営業店舗の休業や営業時間の短縮を余儀なくされました。緊急事態宣言解除後も、ソーシャルディスタンス(社会的距離)を保つ必要から客席数を減らしており、また外出自粛やグループによる会食を敬遠する動きが収まらないため、来店客数の減少に見舞われております。ランチメニューの拡充やテイクアウトの強化などに取り組んでいるものの、中食との競合が一層激化することになり、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは引き続き「すべてはお客様の為に」をモットーにQSCAを高め、家庭ではなかなか体験できない様々な料理や高レベルのサービスをお客様に提供することによって、「楽しかった、美味しかった」とお客様に喜んで頂けるよう心掛けております。そして新型コロナウイルス感染症拡大抑止のため従業員の検温やマスク着用、頻繁な手洗いの徹底、ソーシャルディスタンス確保のための客席数の削減、店舗内の小まめな消毒、密閉空間回避のための十分な換気などを鋭意実施しております。また中食を上回る上質でお値打ち感のあるランチメニューの拡充やテイクアウト販売の強化、ウーバーイーツや出前館などのデリバリー代行サービスを利用した宅配の推進なども図っております。

コスト面では、不要不急の支出を極力抑えるよう心掛けており、具体的には新規の出店投資の抑制、休業中の店舗のパート・アルバイト従業員に対する休職補償に基づく自宅待機依頼、正社員の配置転換による人材活用の効率化、賃借物件の家賃圧縮などに努めました。

店舗政策につきましては、「フューチャーバリューの獲得」の観点から居酒屋業態を中心に店舗の統廃合を進めました。直営レストラン業態が5店舗、直営居酒屋業態が2店舗、合計7店舗が増加したものの、直営レストラン業態を41店舗、直営居酒屋業態を114店舗、合計155店舗を閉店致しました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は1,314店舗となりました。尚、FC店舗を含めた総店舗数は2,471店舗となっております。

以上のような施策を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大抑止を図る必要から営業店舗の休業や時短営業を大量に実施致しました。4月末時点で休業していた直営店舗数は452店、時短営業を行った直営店舗数は718店、5月末時点で休業していた直営店舗数は82店、時短営業を行った直営店舗数は535店、6月末時点で休業していた直営店舗数は12店、時短営業を行った直営店舗数は261店となっております。また緊急事態宣言解除後も消費者の外出自粛やテレワーク(在宅勤務)の継続によるアフター5の過ごし方の変化、グループによる会食の敬遠、ソーシャルディスタンス確保のための客席数の削減などにより、既存店の客数並びに売上が前年同期を大幅に下回ることになりました。このため当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上収益が304億81百万円、事業損失が54億2百万円、四半期損失が51億98百万円、親会社の所有者に帰属する四半期損失が41億89百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上収益につきましては、(株)コロワイドMD112億31百万円、(株)アトム60億81百万円、(株)レイズインターナショナル105億70百万円、カップ・クリエイト(株)136億11百万円、その他40億90百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上収益は、セグメント間の内部売上収益又は振替高等を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ78億6百万円減少し、2,410億26百万円となりました。これは主に繰延税金資産が20億38百万円増加したものの、現金及び現金同等物が82億98百万円、営業債権及びその他の債権が11億62百万円、その他の流動資産が5億24百万円、その他の金融資産が3億95百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億9百万円減少し、2,084億34百万円となりました。これは主に社債及び借入金が81億16百万円増加したものの、営業債務及びその他の債務が85億66百万円、未払法人所得税等が6億95百万円、引当金が7億45百万円が減少したことによるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末に比べ62億96百万円減少し、325億92百万円となりました。これは主に利益剰余金が47億66百万円、非支配株主持分が13億86百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが△65億27百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△44億74百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが28億35百万円、現金及び現金同等物に係る換算差額が△1億31百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ82億98百万円減少し、239億18百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前四半期損失、営業債務及びその他の債務の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に営業譲受による支出、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純増減額、リース負債の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点においては新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たず、合理的な業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となりました時点で速やかに開示致します。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日) |
|--------------|-------------------------|----------------------------------|
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 32,215 | 23,918 |
| 営業債権及びその他の債権 | 8,533 | 7,372 |
| その他の金融資産 | 1,057 | 1,089 |
| 棚卸資産 | 3,297 | 3,050 |
| 未収法人所得税 | 1,716 | 1,896 |
| その他の流動資産 | 4,558 | 4,034 |
| 流動資産合計 | 51,376 | 41,358 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 47,820 | 47,605 |
| 使用権資産 | 28,566 | 29,611 |
| のれん | 71,795 | 71,843 |
| 無形資産 | 6,077 | 5,924 |
| 投資不動産 | 559 | 511 |
| その他の金融資産 | 29,608 | 29,181 |
| 繰延税金資産 | 12,469 | 14,507 |
| その他の非流動資産 | 560 | 486 |
| 非流動資産合計 | 197,456 | 199,668 |
| 資産合計 | 248,832 | 241,026 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日) |
|------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 23,748 | 15,268 |
| 社債及び借入金 | 32,619 | 40,535 |
| リース負債 | 14,131 | 14,374 |
| その他の金融負債 | 24 | 52 |
| 未払法人所得税 | 941 | 246 |
| 引当金 | 5,906 | 5,225 |
| 契約負債等 | 326 | 289 |
| その他の流動負債 | 10,138 | 10,378 |
| 流動負債合計 | 87,834 | 86,367 |
| 非流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 5,363 | 5,277 |
| 社債及び借入金 | 78,484 | 78,684 |
| リース負債 | 27,461 | 27,548 |
| その他の金融負債 | 2,222 | 2,068 |
| 引当金 | 6,608 | 6,544 |
| 繰延税金負債 | 303 | 287 |
| 契約負債等 | 1,056 | 953 |
| その他の非流動負債 | 613 | 707 |
| 非流動負債合計 | 122,109 | 122,067 |
| 負債合計 | 209,943 | 208,434 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 14,030 | 14,030 |
| 資本剰余金 | 18,876 | 18,876 |
| 自己株式 | △158 | △158 |
| その他の資本の構成要素 | △495 | △639 |
| 利益剰余金 | △7,295 | △12,062 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 24,958 | 20,047 |
| 非支配持分 | 13,931 | 12,545 |
| 資本合計 | 38,889 | 32,592 |
| 負債及び資本合計 | 248,832 | 241,026 |

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|---------------------------------|---|---|
| 売上収益 | 59,069 | 30,481 |
| 売上原価 | 24,974 | 14,303 |
| 売上総利益 | 34,095 | 16,179 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,592 | 21,581 |
| 事業利益又は事業損失(△) | 2,503 | △5,402 |
| その他の営業収益 | 412 | 468 |
| その他の営業費用 | 207 | 1,517 |
| IFRS営業利益又はIFRS営業損失(△) | 2,707 | △6,450 |
| 金融収益 | 116 | 79 |
| 金融費用 | 1,410 | 809 |
| 税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△) | 1,413 | △7,181 |
| 法人所得税費用 | 897 | △1,983 |
| 四半期利益又は四半期損失(△) | 516 | △5,198 |
| 四半期利益又は四半期損失(△)の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 375 | △4,189 |
| 非支配持分 | 140 | △1,009 |
| 四半期利益又は四半期損失(△) | 516 | △5,198 |
| 1株当たり四半期利益又は四半期損失(△) | | |
| 基本的1株当たり四半期利益又は四半期損失(△) (円) | 2.30 | △58.52 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益又は四半期損失 (△)(円) | 2.30 | △58.52 |

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 四半期利益又は四半期損失(△) | 516 | △5,198 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 18 | 2 |
| 純損益に振り替えられることのない項目合計 | 18 | 2 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | △138 | △206 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジ | △37 | △1 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目合計 | △175 | △206 |
| 税引後その他の包括利益 | △157 | △205 |
| 四半期包括利益 | 359 | △5,402 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 202 | △4,333 |
| 非支配持分 | 157 | △1,069 |
| 四半期包括利益 | 359 | △5,402 |

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | |
|---------------------|----------------|--------|------|---------------------------|---------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | |
| | | | | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | キャッシュ・フロー・ヘッジ |
| 2019年4月1日残高 | 14,030 | 18,775 | △155 | △11 | △151 |
| 会計方針の変更 | — | — | — | — | — |
| 修正再表示後の残高 | 14,030 | 18,775 | △155 | △11 | △151 |
| 四半期利益 | — | — | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | 9 | △37 |
| 四半期包括利益 | — | — | — | 9 | △37 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | — | — |
| 自己株式の処分 | — | — | 0 | — | — |
| 配当金 | — | — | — | — | — |
| 非支配株主との取引に係る親会社持分変動 | — | 4 | — | — | — |
| 所有者との取引額合計 | — | 4 | 0 | — | — |
| 2019年6月30日残高 | 14,030 | 18,778 | △155 | △2 | △188 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | 非支配持分 | 資本合計 |
|---------------------|----------------|---------------|--------|------------------|--------|--------|
| | その他の資本の構成要素 | | 利益剰余金 | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | | |
| | 在外営業活動体の換算差額 | その他の資本の構成要素合計 | | | | |
| 2019年4月1日残高 | △211 | △373 | 2,558 | 34,835 | 15,810 | 50,645 |
| 会計方針の変更 | — | — | △2,798 | △2,798 | △1,600 | △4,398 |
| 修正再表示後の残高 | △211 | △373 | △240 | 32,037 | 14,210 | 46,247 |
| 四半期利益 | — | — | 375 | 375 | 140 | 516 |
| その他の包括利益 | △146 | △174 | — | △174 | 16 | △157 |
| 四半期包括利益 | △146 | △174 | 375 | 202 | 157 | 359 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | — | — | — |
| 自己株式の処分 | — | — | — | 0 | — | 0 |
| 配当金 | — | — | △578 | △578 | △438 | △1,016 |
| 非支配株主との取引に係る親会社持分変動 | — | — | — | 4 | 18 | 21 |
| 所有者との取引額合計 | — | — | △578 | △574 | △421 | △995 |
| 2019年6月30日残高 | △356 | △546 | △442 | 31,665 | 13,946 | 45,611 |

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | |
|--------------|----------------|--------|------|---------------------------|---------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | |
| | | | | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | キャッシュ・フロー・ヘッジ |
| 2020年4月1日残高 | 14,030 | 18,876 | △158 | △7 | △203 |
| 四半期利益 | — | — | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | △1 | △1 |
| 四半期包括利益 | — | — | — | △1 | △1 |
| 自己株式の取得 | — | — | △0 | — | — |
| 自己株式の処分 | — | 0 | 0 | — | — |
| 配当金 | — | — | — | — | — |
| 所有者との取引額合計 | — | 0 | △0 | — | — |
| 2020年6月30日残高 | 14,030 | 18,876 | △158 | △7 | △203 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | 非支配持分 | 資本合計 |
|--------------|----------------|---------------|---------|------------------|--------|--------|
| | その他の資本の構成要素 | | 利益剰余金 | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | | |
| | 在外営業活動体の換算差額 | その他の資本の構成要素合計 | | | | |
| 2020年4月1日残高 | △286 | △495 | △7,295 | 24,958 | 13,931 | 38,889 |
| 四半期利益 | — | — | △4,189 | △4,189 | △1,009 | △5,198 |
| その他の包括利益 | △143 | △144 | — | △144 | △60 | △205 |
| 四半期包括利益 | △143 | △144 | △4,189 | △4,333 | △1,069 | △5,402 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △0 | — | △0 |
| 自己株式の処分 | — | — | — | 0 | — | 0 |
| 配当金 | — | — | △578 | △578 | △316 | △894 |
| 所有者との取引額合計 | — | — | △578 | △578 | △316 | △894 |
| 2020年6月30日残高 | △429 | △639 | △12,062 | 20,047 | 12,545 | 32,592 |

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△) | 1,413 | △7,181 |
| 減価償却費及び償却費 | 6,614 | 5,008 |
| 減損損失 | — | 18 |
| 金融収益 | △116 | △79 |
| 金融費用 | 1,410 | 809 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 67 | △33 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 159 | 247 |
| 営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加) | 1,541 | 1,770 |
| 営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少) | △364 | △5,389 |
| その他 | △958 | △690 |
| 小計 | 9,765 | △5,519 |
| 利息及び配当金の受取額 | 38 | 51 |
| 利息の支払額 | △432 | △444 |
| 法人所得税の支払額 | △1,366 | △614 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,004 | △6,527 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入れによる支出 | △3 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,582 | △1,584 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 81 | 315 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △146 | △111 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 452 | 261 |
| 営業譲受による支出 | — | △2,872 |
| その他 | △242 | △483 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,440 | △4,474 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 | 2,766 | 7,928 |
| 長期借入れによる収入 | 8,773 | 1,279 |
| 長期借入金の返済による支出 | △9,768 | △842 |
| 社債の償還による支出 | △217 | △239 |
| リース負債の返済による支出 | △4,824 | △4,430 |
| 配当金の支払額 | △541 | △558 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △412 | △304 |
| その他 | 9 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,215 | 2,835 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 22 | △131 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,371 | △8,298 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 33,854 | 32,215 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 35,225 | 23,918 |

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

| IFRS | | 新設・改訂の概要 |
|----------|---------------------|--------------------------------|
| IFRS第3号 | 企業結合 | 事業の定義の明確化 |
| IAS第1号 | 財務諸表の表示 | 重要性の定義の明確化 |
| IAS第8号 | 会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬 | 重要性の定義の明確化 |
| IFRS第7号 | 金融商品：開示 | 金利指標改革に対応してヘッジ会計に関する要求事項の一部を修正 |
| IFRS第9号 | 金融商品 | 金利指標改革に対応してヘッジ会計に関する要求事項の一部を修正 |
| IFRS第16号 | リース | COVID-19に関連した賃料減免に関する会計処理を改訂 |

①IFRS第3号「企業結合」、IAS第1号「財務諸表の表示」、IAS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」、IFRS第7号「金融商品：開示」及びIFRS第9号「金融商品」の適用

当社グループは、当連結会計年度より当該基準を適用しております。なお、当該基準の適用による要約四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

②IFRS第16号「リース」の適用

本改訂は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の直接的な結果として賃料減免を受けたリースの借手に対して、簡便的な会計処理を選択することを認めるものであります。

本改訂によれば、新型コロナウイルス感染症に関連する賃料減免のうち所定の要件を満たすものについて、これがIFRS第16号において規定される「リースの条件変更」に該当するか否かに係る評価を行わなくてもよいとする実務上の便法を借手が選択することができるとされております。

当社グループは、上記の要件を満たす賃料減免について本便法を適用しております。

なお、本便法の適用により当第1四半期連結累計期間における税引前四半期損失が424百万円減少しております。